

# システムコーチング®(ORSC®)知的財産ガイドライン

2021年5月施行 CRR Global Japan 合同会社

## <概要>

### 【1】本ガイドラインの目的

### 【2】知的財産使用についての方針

### 【3】商標・ロゴについて

### 【4】ORSC®コンテンツの使用について

- (1) システムコーチング® (ORSC®)セッション
- (2) 研修・トレーニング・ワークショップなど
- (3) システムコーチング® (ORSC®)体験会・説明会
- (4) 配布資料・プレゼン資料
- (5) 書籍・ウェブサイトなど
- (6) その他

## <本編>

### 【1】本ガイドラインの目的

CRR Global Japan はシステムコーチング®(英語名: Organization and Relationship Systems Coaching® 略称: ORSC®)を学んだ皆様が社会のそれぞれの現場において ORSC®を実践し活躍していかれることを期待しています。このガイドラインはその活動を支援しつつ、ORSC®の創設者やその源流となる智慧を尊重し、それぞれの関係者にとっての「Right Relationship™(正しい関係)」を創っていくことを目的としています。

### 【2】知的財産使用についての方針

CRR Global Japan 合同会社(以下 CRR Global Japan)は、米国 CRR Global Inc.とのビジネスライセンス契約のもと、ORSC トレーニングコース内で使用された教材の著作権を含むすべての権利を有します。CRR Global Japan から書面による許諾をうけることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、その教材を複製、模倣または譲渡すること、また ORSC コース未受講者への共有を禁じます。

ORSC トレーニングを受講された皆様が ORSC を実践するときには、ORSC 教材のコンテンツを自由にお使いください。ただし、その教材を用いて ORSC を教えること、あるいは別の研修教材に組み入れることについては、CRR Global Japan の知的財産の保護、ならびに、今後 ORSC トレーニングコースを受講される方々の学びの最大化の観点から、お控えくださいますようお願い申し上げます。

CRR Global Japan は、ORSC のコンセプトや方法論が、より多くの実践を通して進化し、幅広く応用されていくことを願っています。同時に、そのコンセプトや方法論が、一貫性をもって高いクオリティで伝えられるように、その環境を守りたいと考えています。

本ガイドラインに沿った使用をされていない場合には法的措置を受ける場合もありますので、よくお読み頂いて、自覚をもって使用して頂きますようお願いいたします。

尚、このガイドライン方針は CRR Global Japan のホームページにアップデートされたものが有効な最新版となります。利用の際には、ご確認頂きますようお願いいたします。その他、ORSC トレーニングコース教材及びコンテンツの取扱いに関しご質問があれば、以下にご連絡ください。

CRR Global Japan 合同会社

〒102-0083 東京都千代田区麴町 6-6-2 東急四谷ビル 5F WeWork 内

Email: info@crrglobaljapan.com

### 【3】商標・ロゴについて

- ・ 下記のもの CRR Global Japan の登録商標及びトレードマークです。  
※英語表記に関しては、大文字小文字を問わず登録商標です。

ORSC® (Organization & Relationship Systems Coaching®)
システムコーチング®
第三の存在®
ランズ・ワーク®
関係性システムの知性®
RSI® (Relationship Systems Intelligence™)
Right Relationship™ (正しい関係)
関係性システム™

HP、チラシ等でこれらの登録商標を使用する場合は、必ず下記文面を例にして記載してください。  
「○○○○®は、CRR Global Japan 合同会社の登録商標です。http://www.crrglobaljapan.com」

- ・ロゴについては CRR Global Japan 以外の方が使用することはできません。

#### ・資格の表記

CRR Global Japan ではプロフェッショナル実践コース(旧資格コース)を終えて認定を受けられた方に以下の資格表記を使っています。

- ORSCC (Organization and Relationship Systems Certified Coach)  
(CRR Global 認定 組織と関係性のためのシステムコーチ)

### 【4】ORSC®コンテンツの使用について

ORSC 受講生の皆様の活動にとって ORSC がお役に立つことは、CRR Global Japan の願いであり、ORSC の実践を進めていかれることを心より応援しております。

ただし、以下の2点についての留意をお願いします。

- ・ORSC を実践できるコーチやリーダーの育成(トレーニング)は CRR Global Inc.及び CRR Global Japan と契約しているファカルティ(トレーナー)のみに限定されています。
- ・コーチングセッションなどの場で ORSC ツールやコンセプトなどを伝える・配布する場合、出典の明記をする。

詳しい説明は以下に記しますので、皆さんの活動場面に応じて随時参照下さるようお願いいたします。

- (1) ORSC® セッション
- (2) 研修・トレーニング・ワークショップなど
- (3) ORSC®体験会・説明会
- (4) 説明資料・配布資料・プレゼンテーション資料
- (5) 書籍・ウェブサイトなど
- (6) その他

### (1) ORSC®セッション

#### ●ORSC セッションとは

関係性のある「システム」(組織のチーム、家族、コミュニティなど)に対して ORSC のツールやスキルを用いて行うコーチングの場のこと。

#### ●ツール・スキルの使用について

セッションにおいてご自身が学ばれた ORSC のツールやスキルを用いるのは自由です。ただし、「教育」のスキルを実践する際は、以下の区別をお願いします。

\* セッションにクライアントが取り組みやすくするための「文脈設定」(ツールの目的、意義の説明、ORSC の効果の提示など)が「教育」のスキルです。また、クライアントに「関係性システム」の知性® (RSI®)を高めてもらうためにコンセプトや研究結果を提示すること(アーノルド・ミンデル博士の3つの現実レベルやゴットマン博士の研究結果など)も「教育」のスキルにあたります。

\* 一方、クライアント自身が ORSC を実施・提供できるように教えることは、「教育」のスキルには該当せず、前述のとおり、皆様が各々の活動場面で参加者に対して、ORSC を実践・提供できるように教えることはできませんのでご注意ください。

#### ●マニュアル・リソースガイドブック(オンラインコース)・フリップチャートガイド(対面コース)・ORSC インスティテュート(以下「ORSC 教材」)の使用について

セッションの場において皆様が ORSC 教材を参考にしながらコーチングを行うのは問題ありません。ただし、クライアントに提示する資料として ORSC 教材を複写・複製して使うことはお控え下さい。ワークシート(紙面上のコンステレーションなど)が必要な場合には、ORSC 教材を参考にしてご自身で作成して用いて下さい。

### (2) 研修・トレーニング・ワークショップなど

#### ●研修・トレーニング・ワークショップとは

参加者の方が講義、教材、体験を通じて、特定のコンテンツもしくは自分自身や自分のシステムに対する気づきや学びを得るための場です。

#### ●ツール・スキルの使用について

研修・トレーニング・ワークショップの中で参加者がお互いの関係性を深めるもしくは自分自身の属するシステム(=関係性)を見直し、気づきや学びを得てもらうために ORSC ツールやスキルを使うのは問題ありません。ただし、テキスト・投影資料などに「出典 CRR Global Japan ORSC®プログラム」の記載をお願いします。

### (3) ORSC®体験会・説明会

#### ●ORSC 体験会・説明会とは

ORSC の普及及び ORSC 案件創出を目的として、参加者が ORSC を知るもしくは体験するために創られた場です。

#### ●出典・知的所有権の明示について

ORSC が CRR Global Japan 及び CRR Global Inc. の知的財産であることを口頭での説明及び配布・投影資料での明記をお願いします。

#### ●ツール・スキルの使用について

参加者が ORSC セッションを(疑似)体験したり、自分自身が属するシステムについて、ORSC のコンセプトを通じて気づきや学びを得る、もしくは参加者同士のお互いの関係性を深めるためにツールやスキルを使うのは問題ありません。

#### (4) 説明資料・配布資料・プレゼンテーション資料

##### 【使用いただけること】

- 1 個人の活動として(ご自分のパートナーや職場のメンバーとの関係性の向上など)作成する説明資料の中で、ORSC 教材やプログラムを通じて知り得た内容を使用する場合、「出典 CRR Global Japan ORSC®プログラム」と出典を明記した上で、ご使用いただけます。
- 2 ORSC の実践家として、クライアントに対して作成する配布資料やプレゼンテーション資料の中で、ORSC 教材やプログラムを通じて知り得た内容を使用する場合、「出典 CRR Global Japan ORSC®プログラム」と明記した上で、ご使用いただけます。
- 3 皆様が個人的目的および実践家として ORSC を行う際に CRR Global Japan のホームページの内容を使用する場合は、「出典 CRR Global Japan ORSC®プログラム」と明記した上で、使用いただけます。

##### 【使用いただけないこと】

- 1 CRR Global Japan の事前の書面による許可なく、コーチやトレーナー、組織のリーダーなどに対して、ORSC について教える、またはご自身のコンテンツの一部として ORSC を教える目的で、配布資料やプレゼンテーション資料に ORSC 教材を通じて知り得た内容を使用することはできません。
- 2 CRR Global Japan の事前の書面による許可なく、ORSC 教材、弊社ホームページ等の内容を、修正、賃借、配布、ライセンスの貸与をすることは認められません。また、【使用いただけること1～3】の目的以外で内容の全てまたは一部について複製と転用することは認められません。

#### (5) 書籍・ウェブサイトなど

##### 【使用いただけること】

- 1 書籍で ORSC 教材やプログラムを通じて知り得た内容を使用する場合は、まず CRR Global Japan の事前の書面による許可を受け、「出典 CRR Global Japan ORSC®プログラム」と明記した上で、使用することができます。
- 2 プロモーション・営業活動を目的としたウェブサイト(動画含む)において ORSC 教材やプログラムを通じて知り得た内容を使用する場合は、「出典 CRR Global Japan ORSC®プログラム」と明記した上で、使用することができます。
- 3 ORSC®プログラムの中で紹介されている内容で原典が他にある内容について引用する場合は、その原典を明記した上で使用することができます。例えば、メタスキル、ディープデモクラシー、3つの現実レベルなどについて、「出典アーノルド・ミンデル博士 プロセスワーク」と明記してください。

##### 【使用いただけないこと】

CRR Global Japan の事前の書面による許可なく、ORSC 教材やプログラムを通じて知り得た内容についての修正、変更、創作したものを出版、配布、貸与、サブライセンスすることは認められません。

※尚、コース参加にあたっての誓約書の記載にもある通り、コース内において、許可なく画像撮影・録音・録画等の行為は禁止されていることにもご留意下さい。

(6)その他

インターネット上や公共の場などで、ORSC プログラムを通じて得た経験をシェアする場合、「CRR Global Japan ORSC®プログラム」の名前を出して頂くようお願いいたします。ただし、ご自身の気づきや学びに焦点をあて、ORSC 教材やプログラムの内容については言及を控えてください。新しく学ぶ方たちへの配慮をお願いいたします。

以上です。

CRR Global Japan にとって、皆様との「Right Relationship™(正しい関係)」を創っていくことはとても大切です。もし、少しでもわかりにくいことや気になることがありましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

CRR Global Japan